

参考資料 4

国際的動向を踏まえたオープン
サイエンスの推進に関する検討会
(第6回)
平成30年8月23日(木)

第5回 国際的動向を踏まえたオープンサイエンスの推進に関する検討会

議事概要

1. 日 時：平成30年6月20日（水）17：00～19：00
2. 場 所：中央合同庁舎4号館2階 共用第3特別会議室
3. 出席者：（敬称略）

引原（座長）、喜連川（副座長）、有川、家、小賀坂、黒川、関口、高木、林、村山の各構成員、上山総合科学技術・イノベーション会議議員、生川大臣官房審議官、梅澤参事官

1. 議事

（1）事務局説明

事務局より、研究データ管理・利活用ポリシー策定ガイドライン案、その他について説明があった。

（2）主な意見交換等

上記、事務局説明を踏まえた意見交換が行われた。

（研究データ管理・利活用ポリシー策定ガイドライン案）

- データポリシーの策定主体が法人内の部門やセンター等である場合でも、法人全体としても一定の責任及び影響力を持たせる必要がある。
- 研究公正の観点からも研究データの管理を要請されることが有るが、オープンサイエンスにおける研究データの管理と異なる観点であることは、本ガイドラインの解説資料などで言及する必要がある。
- 各法人におけるデータポリシーの策定については、策定の年限が定められていることなどの観点から、段階的な導入を認める文言を追記したほうがよい。
- ガイドラインの公表後も各法人の策定過程における質問等への対応をまとめた資料やガイドラインの解説資料を作成し、各法人におけるデータポリシーの策定を継続的にフォローアップすることが重要である。

2. その他

- オープンサイエンス推進のための取組全体における、リポジトリの整備について議論することの位置づけなどを整理したうえで、リポジトリの整備・運用のガイドライン策定を含め、次回以降の議題として検討したい。
- 次回は7月中旬から8月上旬頃の開催予定とする。